

令和7年度 調布市立八雲台小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
よく考える子ども ◎思いやりのある子ども 健康な子ども	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
「一人一人の子どもが安心して通うことができる学校」	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	○自分の気持ちを適切に相手に伝えることができず、友達との関わりが未熟な児童がいる。 そのため、お互いのよさや違いを認め合うことのできる児童を育成する必要がある。 ○学力面では、基礎的な知識・技能についての定着は良好であるが、自ら問題を発見したり、思考して解決したりする力が未熟である。このため、ユニバーサルデザイン化を取り入れた分かりやすい授業の展開、個に応じた個別最適な授業の展開、ICTを活用した協働的な学びの深化などを進めていくことが必要である。 ○体力や健康面では、体を動かすことの楽しさを味わうことのできる体育の授業展開や、運動に対する意欲の喚起が求められる。また個々の心身の発達に応じた、体や心の健康を支援・指導していく必要がある。 ○各教科とも、教員一人一人の指導力・授業力を高め、授業改善を図り推進し、組織的に児童の学びを深めることのできる取り組みをすることが課題である。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	相手の話を受けて話をつないだり、それぞれの立場を踏まえて話し合ったり、文章を読んで感じたことや考えたことを伝え合ったりする能力及び論理的思考力。	- 学習の中で、自分の考えを筋道立てて話し、意見交流をする活動を多くする。 - 日常のスピーチや発表の機会を多くする。 - 目的や意図に応じて文章構成を考えたり、相手に応じて言葉を選んだりすることができるように指導する。 - 考えたことをノートに書き、効果的な表現の工夫などを繰り返し行っていく。
社会	社会的事象から学習課題を見だし、解決への見通しをもったり、学習問題を追究・解決したりする能力。	- 資料から読み取った事実や調べたことを基に考える場面を多く設ける。 - 学習課題に対して、自ら資料を選択・収集したり、活用したりするなど、課題解決が深まるように学習を展開し、自分の考えをまとめることを通して、論理的に表現する力を伸ばしていく。
算数	- 基礎・基本の学力の向上。 - 問題発見・解決の過程において、よりよい解法にしていくための意見の交流や議論の場で、自分の考えたことを伝えたり、相手の意見を聞いて考えを広げたりする能力及び数学的思考力。	- 少人数・習熟度別学習を通して、基礎的・基本的な内容の理解と定着を図るとともに、発展的な学習にも取り組む。 - 考え方を深めるために、自ら考える時間を設けたり、発表や検討したりする時間を多く設定し、主体的な学習を増やす。また、共に認め合い、学び合う学習集団の育成を図る。
理科	問題を見出し、見通しをもって観察・実験などを行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すといった問題解決能力及び科学的思考力。	- 自然の事物・現象に関心や意欲を高めつつ、自分の考えや予想をもちながら調査し結論を導き出すような学習活動を多くする。 - 問題解決の際、「問題→予想→実験→結果→考察→結論」の流れで自分の考えをまとめる活動を定着させる。
生活	- 活動や体験からの気づきを深めていく能力。 - 活動や体験から、気付いたことを生活に生かそうとする能力。	- 他者との関わりを大切に、体験したことや自分自身の成長を豊かに表現できるような場（話し合い、カード、観察等）を多く設定し、意欲的に生活できるようにする学習活動を取り入れる。 - 自分の思いや願い・気付いたことを、発見カードや振り返りカード等へ書きたり、身体などで表現したりすることを通して、一人一人の気づきを認め励ましていく中で自立への基礎を養っていく。

音楽	・試行錯誤しながら曲にふさわしい音楽表現を工夫したり，他者と協働しながら音楽表現を生み出したりする能力。 ・互いのちがいやよさを認め合う態度。	・授業や行事を通していろいろな音楽にふれ，そのよさを感じ取らせ，表現活動に対する意欲を育てる。 ・音楽の響きの豊かさや，美しさに気付くような，互いに聴き合う活動を多く取り入れる。
図画工作	・表したいことを見付けることや，どのように表すかなど方法を工夫して考える能力。 ・互いのちがいやよさを認め合う態度。	・発達段階に応じ，様々な素材や道具を用意し，意欲的に楽しみながら造形活動に取り組ませる。 ・発想を広げるための題材設定や環境づくりを行い，一人一人が感性を働かせながら表現を楽しめるような授業展開をする。
家庭	・家庭生活の様子を確認し自分の考えや自分なりに気付いたことをまとめ，実生活に生かそうとする能力。	・日常の生活を見直したり，食事の意味を考えたりする時間を確保する。 ・学習を通して身に付けた技能を生活の中で十分に生かせるように，家庭での課題を増やし，実践力を高めるようにする。
体育	・基礎体力及び運動に対する意欲，心身の維持管理意識の向上。 ・技能の高低に関わらず，多様性を認め，学び合うことができるコミュニケーション能力の育成	・スモールステップの評価を繰り返し，意欲を喚起するとともに，技能の向上に結び付けさせる。また，各運動の1回目とその学習の大まかな見通しをもたせ，ポイントになる運動特性について理解させる。 ・学習カードや検定などを活用し，めあてをもたせたり，自己評価をしたりすることで，達成感を味わわせ，意欲向上をめざす。 ・休み時間などにおいても児童の要求に応じて，適時，器具・用具を貸与し，運動の日常化と体力向上を視野に入れた実践を積み重ねる。
外国語	・自分の気持ちや考えを既習事項の表現や語句を用いて，伝えようとする能力。	・友達やAETとの活動を通して，内容や表現を理解する活動と（インプット），実際に活用する場（アウトプット）の両方をバランス良く取り入れる。
道徳科	・教材を通して感じたことや考えたことを伝え合ったり，自分の考えを深めたり広げたりする能力。	・授業では毎回ワークシートを用意し，その後各自でファイルし，同じ内容項目の違う教材からの考えの深まりや広がりを実感できるように評価する。
外国語活動	・身の回りや自分のことについて，簡単な語句や基本的な表現を用いて，伝えようとする能力。	・必要な目的や場面，状況を設定し，相手に伝える方法を個人・学級全体で考えながら，活動したり，主体的にコミュニケーションをとったりする機会を多く設ける。